

県内経済の動き

概況

〔2月～4月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（2月）は前月比・前年比共に低下。輸出額（3月 細島港）は2カ月連続で前年比増加した。百貨店・スーパー販売額（3月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年比増加し、「軽」を含む乗用車の販売台数（4月）も6カ月連続で前年比増加した。新設住宅着工戸数（3月）は、6カ月ぶりに前年比減少し、公共工事（3月 保証対象請負総額）も2カ月ぶりに前年を下回った。有効求人倍率（3月：1.34倍）は前月比0.01ポイント上昇した。4月の企業倒産件数は、54カ月連続1ケタ台で推移。

県内経済は、住宅投資及び公共投資に弱い動きがみられるものの、個人消費は回復傾向がみられるなど、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。 （厚地）